第２７７回　教育研究評議会　議事録

日　時：令和８年８月２１日（金）１５時００分～１５時４５分
場　所：南１号館（本部共通棟）３階 共通会議室
出席者：本山学長
　　添田、野村、生方、岩田、山形　各理事
　　竹林学系長、橋本学系長、山﨑教育学部長、金川経済学部長、中村システム工学部長、大浦観光学部長、竹内社会インフォマティクス学環長
　　豊田、富田、辻本、柳、矢嶋、村田、北村、佐々木、宮本　各教授
　　（福田監事、内川監事、小田企画課長、中井総務課長、金谷人事労務課長、上續財務課長、藤川施設整備課長、寺本研究協力課長、藤原学務課長、森田入試課長、松尾学生支援課長、津田国際交流課長、三谷学術情報課長）
欠席者：なし

学長から第２７６回（７月２４日）の議事録について、意見等の有無の確認があり、了承した。

議　題：
１．ブレダ応用科学大学（オランダ）との大学間交流協定の締結について
　野村理事より、ブレダ応用科学大学（オランダ）との大学間交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

報　告：
１．【文部科学省】「第５期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会」における検討状況について
　生方理事より、【文部科学省】「第５期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会」における検討状況について、資料に基づき説明があった。

２．「総合大学院（仮称）」の設置及び社会インフォマティクス学環改革の方向性について（案）
　本山学長より、「総合大学院（仮称）」の設置及び社会インフォマティクス学環改革の方向性（案）について、資料に基づき説明があった。
　山﨑教育学部長から、学長が以前示された「第５期中期目標期間中の学部入学定員 20%削減」の考え方と、資料３に記載された「学部定員の適正化」及び今回設置するワーキンググループ（WG）との関係について質問があった。これ

に対し本山学長から、将来的な 18 歳人口の減少を見据えた定員規模の検討は必要であるものの、学部定員の削減を前提として大学院改革を進めるものではないとの説明があった。さらに山﨑教育学部長から、学部入学定員 20%削減は第５期中に行われるのかどうかの確認があった。本山学長からは、第５期以降の検討課題とする旨の説明があった。その上で、大学全体の定員をできる限り維持することを目標に、まずは大学院改革の方向性について WG で検討し、その過程で将来的な定員規模の在り方についても議論するとの考えが示された。

以　　上